

社会保険労務士からの三方一両得だより

平成29年 6月20日 第93号

モデルルームに行ってきました

先日、宇都宮市ゆいの杜にあるモデルルームに行ってきました。当事務所のお客様である栃木アシストホーム株式会社様の物件です。以前からお話を伺っていましたが、今回の内覧会のチラシ写真が素晴らしかったので一度拝見させていただくことにしました。

なによりも目を引くのは、その内装です。木をふんだんに使い柱や梁がすべて見えている構造、「真壁づくり」になっています。分かりやすく言うと「古民家風」でしょうか。静岡県にある「サイエンスホーム」という会社の商品ですので、コンセプトにご興味のある方はぜひ同社ホームページをご覧ください。



大きな吹き抜けが特徴になっています。

我が家は築17年ですがいつも早めにメンテナンスをしているおかげで非常に状態が良く、目先建て替える予定はありませんが、年を取った時には全室同じ温度になるこの家も選択肢の一つになると思います。

ぜひ一度、足を運んでみてください。

室内にはエアコンが1台しかないのですが、外断熱のため冬も夏もそれで十分とお話でした。洗面所や脱衣所の冬の寒さに思わず肩をすくめる私としては、かなりうらやましいポイントです。

家の真ん中に柱があるのも、軽量鉄骨造の家に住んでいる私には新鮮な感じがしました。



金子社長と同社の設計ご担当者様。



早くもピーマンが取れ始めました。

我が家の畑

昨年期待外れだったサツマイモに今年もチャレンジです。とりあえず去年と違う取り組みをしてみようと、少し高い畝にしてマルチを引いてみました。これが吉と出るか凶とでるかは秋に判明します。畑のあちこちで勝手に芽を出した大葉が、ほとんど成長しています。毎週末何十枚も収穫しても、まだまだいくらかでも畑にありますので、長く収穫がたのしめそうです。

女性の就業率や管理職割合に関する地域差について

政府は、平成 29 年版「男女共同参画白書」を閣議決定しました。この白書は、男女共同参画基本法に基づき作成している年次報告書で、今年は女性活躍推進法施行後の現状と課題について特集しています。

同白書によると、平成 28 年の 15～64 歳の女性の就業率は 66.0%で、過去最高となりました。これは男女雇用機会均等法が施行された昭和 61 年(1986 年)の 53.1%から約 13 ポイント上昇したことになります。

1986 年 2016 年 **30 年間**
53.1% ⇒ 66.0% **12.9%UP**

皆様はこの数字をどのように感じられましたでしょうか。個人的にはもっと女性の就業率が高いように感じました。

◆地域別の就業率は？

都道府県別でみると、平成 27 年時点の女性の就業率は、福井県(74.8%)が最も高く、次いで富山県(72.2%)、島根県(71.8%)となっています。北陸地方が高い理由としては、2世代・3世代で一緒に住んでいる家庭が多いため、子育ての負担が軽減でき、出産後も仕事に復帰しやすい環境が整っていることな

どが挙げられています。

また、就業率が低いのは、奈良県(58.5%)、兵庫県(60.6%)、大阪府(61.4%)となっています。福井県と奈良県の差が 16.3 ポイントもあることから、地域によってばらつきがあることがわかります。



また、海外諸国と比べると、日本は OECD(経済協力開発機構)35 か国中 16 番目(OECD 平均は 58.6%)です。上位はもちろん北欧の各国です。

◆2020 年までに女性管理職を 30%に！

女性管理職の割合は全国平均で 13.4%となっています。

女性活躍推進法が施行されて 1 年が経ち、政府は 2020 年までに女性管理職の割合を「30%」にするとの目標を掲げていますが、今後は女性活躍に関する目標設定や情報の見える化をさらに進めるよう促していくとしています。

このままでは、実現は難しそうですね。